

国内での台風「最悪の被害」ランキング (死者・行方不明者の合計数順)

順位	台風名	死者・行方不明者数	負傷者数	住家※	上陸・最接近年月日
1	伊勢湾台風	5098人	3万8921人	83万3965棟	1959年9月26日
2	枕崎台風	3756人	2452人	8万9839棟	1945年9月17日
3	室戸台風	3036人	1万4994人	9万2740棟	1934年9月21日
4	カスリーン台風	1930人	1547人	9298棟	1947年9月15日
5	洞爺丸台風	1761人	1601人	20万7542棟	1954年9月26日
6	狩野川台風	1269人	1138人	1万6743棟	1958年9月26日

平成以降の被害ランキング

1	令和元年東日本台風	110人	384人	6万6383棟	2019年10月12日
2	平成16年台風第23号	98人	721人	2万1350棟	2004年10月20日
3	平成23年台風第12号	98人	113人	4008棟	2011年9月3日
4	平成3年台風第19号	62人	1499人	17万447棟	1991年9月27日
5	平成5年台風第13号	48人	396人	1784棟	1993年9月3日

※全壊・流出、半壊、一部損壊の合計。ただし、「平成5年台風第13号」の一部損壊は不詳(理科年表・消防白書より)

中国の元軍が九州北部に攻め入った「元寇」。2度目の弘安の役(1281年)では、文永の役(1274年)の4倍近い軍勢で攻めたが、突如、神

元寇の「神風」は台風によるもの？

風が吹き、元は大敗する。「当時の記録では7月30日夜半から翌日まで、暴風雨が九州から近畿地方を襲いました。大型船が沈むほどの被害が短期間であったので、その時期に発生しやすい台風によるものと考えられます(歴史研究家の井手窪剛氏)



愛知県半田市では、伊勢湾台風により海沿いの多くの住宅が倒壊した

台風の被害は どうして起きるか

日本の台風被害で最も甚大だったのは、伊勢湾台風だ(上図表参照)

元気象庁予報課長で「気象コンパス」代表の古川武彦氏が語る。「伊勢湾台風は高潮が、室戸台風では高潮に加えて強風による建築物の倒壊が、被害を拡大させました」

記憶に新しいのは「令和元年東日本台風」だろう。千曲川(長野県)の堤防が決壊し、新幹線の車両が水に浸かった。流域は観測史上1位の降水量を記録した豪雨に見舞われた。

元寇を描いた絵巻物「蒙古襲来絵詞」

